

## 健診検査センターニュース

No.496 号

## 運営委員会より

8月21日(水)平成25年度第5回の委員会を開催いたしました。

最近、消費税の行方が注目され、社会福祉制度改革も進められてきている。今後、医療にしわ寄せが来るのは間違なく、国民の健康を守る医師会として意見具申をして行きたいとの、所長挨拶がありました。

## 1. 特定健診7月の実施件数は、下記のとおりでした。

	7月受診数 (前年比)	累 計 (前年比)	函館市国保受診率
函館市国保	1,319人 (- 58)	3,040人 (- 180)	7月現在 / 目 標 5.59% / 30.0% 達成率：18.6%
後期高齢者	677人 (+271)	1,496人 (+ 645)	
その他	214人 (+ 4)	601人 (+ 101)	
合 計	2,210人 (+217)	5,137人 (+ 566)	

個別健診実施機関：98 施設 / 登録機関 110

- 7月の受診者数は、2,210人と前年に比べ217人増加しました。内訳としましては、個別健診での伸びが大きく前年比265人の増加となっております。また、保険者別では6月同様国保が伸び悩む中、後期高齢者と協会けんぽの受診者数が大きく伸びております。

## 2. 25年7月の健診検査事業収入は、下記のとおりでした。

	7月 (前年同月比)	25年度累計 (前年比)
一般検査収入	101.4 %	102.6 %
健診収入	158.9 %	113.0 %
合 計	125.3 %	106.8 %

## 3. その他

- ① 平成25年度の診療所立入検査があり、特に指導事項はなかった旨報告されました。
- ② 公益財団法人JKA「平成25年度検診車の整備補助事業」に係る購入業者決定に関する報告書を提出した旨報告されました。

## 《 ちょっと一言 》

先日、サッカーのリーグ戦で肋骨をポッキリさせてしまいました・・・。

笑うと痛いので、笑わない生活をしております・・・。(笑)

4、5年位前にも肋骨骨折したのですが、その時は血気胸になってしまい、入院生活を余儀なくされたこともありましたが、今回は大丈夫そうです！！

毎度様です！！平山です。

前号で少し触れた、「Native soul festival 大門 JUMP UP LIVE2013」でしたが、大盛況の元に、無事終了する事ができました。御協賛頂いた方々にこの場を借りて御礼申し上げます。昨年を越す人手で2000人位の集客ができたようです！！

さて、今回は学術的な事を少し・・・。

フランスのある研究で「スポーツ時の心臓突然死は女性よりも男性にはるかに多い」という報告が出されました。原因や要因などはさらに研究する必要があるとのこと。

女性のスポーツ関連突然死は、スポーツ実施 100 万回につき 0.51 件に対し、男性では 10.1 件と推定されており、死亡時の平均年齢は女性が 44 歳、男性が 46 歳だったと報告されておりました。また、男性では加齢に伴い発生率の増加がみられたが、女性ではみられなかったとの事です。

只今、49歳、喫煙者、肉好き、激しくサッカー好きのため現役でプレー中。

そろそろでしょうか・・・？(笑)

エパデール飲もうかな・・・？(笑)

その前にタバコですか・・・？(笑)

紙面の関係でもう一ついけそうなので・・・。

「大腸用カプセル内視鏡が承認取得」したというお話。

まだ、保険適用が認められていないようですが、今後認められれば検査数が大幅に増加すると予想されているそうです。

我が国の大腸がん検診受診率は 2007 年で約 25%と低いらしく、さらに精密検査が必要な人における精密検査受診率は 57.9%と、約 4 割以上が受診していないらしいです。

その理由として「自覚症状がないから」「痛くて辛そうだから」「恥ずかしいから」といった受容性の問題も多いらしいです。

ただ、多大な画像を読影する必要があるため(1時間程度かかるらしいです)、医師と技師との協力が重要であり、日本カプセル内視鏡学会(へ～)では、認定制度や読影支援技師制度等を施行して、カプセル内視鏡に関する研究教育を行っているらしいです。

医療はもちろんの事、それを取り巻く医療工学やITの進歩等、喜ばしい事ではありますが、我々、医療従事者にとって、原点である「手当て」という、患者さんとの触れ合いと、その心だけは忘れないようにしたいと、改めて思った次第であります。

(文責 広報部 平山繁樹)

公益社団法人函館市医師会 函館市医師会健診検査センター  
TEL 0138-57-6571・FAX 0138-57-6580  
E-mail: info@hma-labo.jp